



**九州アジアリーグに加盟する新球団とホームタウン協定を締結しました**

11月2日(木)、東南アジア初のプロ野球チーム「佐賀インドネシアドリームズ」と武雄市及び嬉野市の三者でホームタウン協定を締結しました。

佐賀インドネシアドリームズは、インドネシア出身の選手を中心に結成され、武雄市及び嬉野市を本拠地とし、独立リーグ「ヤマエグループ九州アジアリーグ」に2024年シーズンから参戦します。

小松市長は、「ホームタウンとして市民に愛される球団になること。また、インドネシアなど東南アジアからのインバウンドが増え、交流が深まることを期待している。」と挨拶しました。



**よい仕事おこしフェア実行委員会と包括的連携協定を締結しました**

有田町・武雄市・嬉野市はこれまで、「有田・武雄・嬉野地区連携会議」として、主に観光面での広域連携に取り組んできましたが、更なる地域活性化や地域産業の発展を目指すため、10月26日(木)に「よい仕事おこしフェア実行委員会」との包括的連携協定を締結しました。

今後、信用金庫が全国に持つネットワークを活用し、市内企業の技術や商品の魅力を全国に発信するなど、地域活性化を推進します。

**【団体概要】**

よい仕事おこしフェア実行委員会は、城南信用金庫を事務局とし、九州ひぜん信用金庫を含む全国各地の信用金庫で組織されています。

日本を元気にするために、地域の枠を超えたビジネスマッチングや事業支援を図る「よい仕事ネットワーク」の運営、日本全国のモノづくり、食品、観光事業者が集結する商談会「よい仕事おこしフェア」の開催などに取り組まれています。



**笑顔いっぱい、美味しいがいっぱい！第16回武雄の物産まつり**

11月18日(土)、19日(日)の2日間、ケーブルワン・スポーツパークで開催した「第16回武雄の物産まつり」。初日は強風に見舞われましたが、2日目は好天に恵まれ、2日間で延べ2万5千人にご来場いただきました。

武雄市内・友好都市から約80もの出展ブースが一堂に集まり、自慢の美味しいもの・良いものに、満点の笑顔で会場はいっぱいに。また、出演者の熱気あふれるステージイベントも、大盛況に終わりました。

SAGA2024のスポーツ体験や、企業・福祉ブース、子どもの遊び場も大賑わい。4年ぶりに開催された全日本美味暮まんじゅう選手権大会や、武雄市伝統芸能まつり、わくわくキッズフェスなどの同時開催イベントも多く参加者で賑わいました。また、武雄金融協会・武雄市建設協力会の皆さまをはじめボランティアスタッフにもご協力いただきました。

新しい体育館に多くの笑顔と美味しいものが集まった2日間、ご来場いただきました皆さま、本当にありがとうございました。そして、開催までご協力いただきました出店者、出演者など関係する全ての皆さま、大変お疲れ様でした。

また来年お会いしましょう！